

渡島・檜山地方の気象

平成 22 年 4 月 (2010 年)

函館海洋気象台

平成 22 年 5 月 31 日

◎ 気象概況

この期間の天気は、高気圧に覆われ晴れた日もあったが、中旬以降低気圧や寒気の影響を受け雨や曇の日が多く、気温は低めに経過した。

月平均気温は平年より低く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は平年より少なかった。

【上旬】

1 日は、低気圧からのびる寒冷前線の接近により、雨が降った。2 日は、低気圧の通過により、雨で昼過ぎから晴れた。3 日は、気圧の谷の通過により、曇で朝一時雨が降った。4 日は、気圧の谷の通過により、曇で午後晴れた。5 日は、高気圧の縁辺で、晴れた。6 日は、低気圧の通過により、概ね曇で午後晴れた。7 日は、高気圧の縁辺で、概ね晴れた。8～9 日は、高気圧に覆われて、晴れた。10 日は、低気圧の接近により、曇った。

【中旬】

11 日は、移動性高気圧に覆われて、晴れた。12 日は、移動性高気圧に覆われて、概ね晴れた。13 日は、日本海から低気圧が急速に発達しながら近づき、雨が降った。14 日は、低気圧の通過後に冬型の気圧配置となって、雪が降った。15 日は、冬型の気圧配置で、曇で所々で雪が降った。16 日は、三陸沖に中心を持つ高気圧に覆われて、晴れた。17 日は、弱い気圧の谷の中で、曇った。18 日は、上空に寒気を伴った気圧の谷の中で、雨や雪が降った。19 日は、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で、薄曇となった。20 日は、低気圧の接近により、雨が降った。

【下旬】

21 日は、気圧の谷の中で、曇で雨の降った所があった。22 日は、高気圧に覆われて概ね晴れた。23 日は、気圧の谷の中で、曇で雨の降った所があった。24 日は、高気圧の縁辺で概ね晴れた。25 日は、上空に寒気を伴った低気圧が北海道を通過して、概ね曇りで雨の降った所があったが、渡島地方の一部で晴れた所があった。26～27 日は、高気圧に覆われて晴れた。28～29 日は、低気圧の接近で雨が降り、28 日に福島町千軒で 15.0mm の日最大 1 時間降水量を観測し、4 月における極値を更新した。30 日は、低気圧の通過で、午前中は雨で、午後には晴れた所があった。

気 温：各地点の月平均気温は 3.7～6.5℃で、平年差は-1.6～-0.7℃。

すべての観測点で平年より低く、八雲町八雲・八雲町熊石・今金・厚沢部町鶉ではかなり低かった。

降水量：各地点の月降水量は 52.0～277.0 mm で、平年比は 83～213%。

今金では平年並で、函館市美原・木古内・八雲町熊石・厚沢部町鶉では平年より多く、そのほかの観測点では平年よりかなり多く、八雲町八雲で 165.5mm、七飯町大沼で 137.5mm、福島町千軒で 277.0mm、乙部町潮見で 147.0mm の観測した月降水量は、それぞれ 4 月における多い方からの極値を更新した。

日照時間：各地点の月間日照時間は 131.1～160.8 時間で、平年比は 79～90%。

すべての観測点で平年より少なく、長万部・函館市川汲・せたな町瀬棚・今金ではかなり少なかった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温（℃）		降水量		日照時間		降雪量	月最深積雪（cm）
	月平均	平年差	月合計（mm）	平年比（%）	月合計（h）	平年比（%）	月合計（cm）	
函 館	5.9	-0.9	103.0	143	157.6	83	0	0
江 差	6.3	-0.9	132.0	171	147.2	87	—	—

（平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。）

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

極値更新なし。

◎ 異常気象および気象災害発生状況

《4月13日～14日、檜山地方》

概 況：13日の朝日本海北部にあった低気圧が急速に発達しながら北東に進み、14日の日中にはサハリン付近に達した。このため檜山地方では気圧の傾きが急となり、強風となった。

気象現象名：強風、波浪

気象災害名：強風害、海上波浪害

気象観測値：最低海面気圧（江差） 997.5hPa（13日16時17分）

最大風向・風速（江差） 西南西 20.1m/s（14日06時42分）

最大風向・風速（奥尻町稲穂） 西 22.4m/s（14日05時56分）

最大瞬間風向・風速（江差） 西南西 28.2m/s（14日06時33分）

最大瞬間風向・風速（奥尻町稲穂） 西 28.5m/s（14日03時30分）

最大波高（瀬棚）（速報値） 11.0m（14日08時）

有義波高（瀬棚）（速報値） 7.2m（14日12時）

被害状況：乙部町：強風に煽られ転倒し負傷者1名、漁港環境整備施設のフェンス等破損1件、奥尻町：ビニールハウス一部破損1棟、せたな町：ビニールハウス一部破損66棟、高校校舎屋根一部破損1棟、今金町：ビニールハウス一部破損79棟、厚沢部町：町施設で倒木により電線や電話線が切断1棟、フェリー：江差－奥尻間2便欠航

《4月13日～14日、渡島地方》

概況：13日の朝日本海北部にあった低気圧が急速に発達しながら北東に進み、14日の日中にはサハリン付近に達した。このため渡島地方では気圧の傾きが急となり、強風となった。

気象現象名：強風、波浪

気象災害名：強風害、沿岸波浪害、海上波浪害

気象観測値：最低海面気圧（函館市美原）	997.2hPa（13日17時58分）
最大風向・風速（函館市美原）	西15.2m/s（14日12時02分）
最大風向・風速（函館空港）	西17.2m/s（14日07時01分）
最大瞬間風向・風速（函館市美原）	西南西24.9m/s（14日14時10分）
最大瞬間風向・風速（松前）	西南西28.5m/s（14日05時14分）
最大波高（松前）	（速報値）9.8m（14日08時）
有義波高（松前）	（速報値）6.5m（14日10時）

被害状況：函館市：強風で住家や非住家の一部損壊する被害が18棟発生、中学校校舎と体育館の渡り廊下屋根破損1件、八雲町：ビニールハウス一部破損2棟（ハウス内植苗被害1件）、牛舎屋根破損2棟、福島町：ビニールハウス全壊1棟、一部破損2棟、知内町：ビニールハウス一部破損1棟、函館バス：松前一木古内間を中心に12便運休、フェリー：函館－青森間13便欠航、函館－大間間3便欠航、高波の影響で道道532号線福島町岩部一同町浦和間(4km)14時30分から5時間通行止。

《4月27日～28日、渡島地方》

概況：中国東北区と日本の南に低気圧があつて、北海道付近は気圧の傾きが急となり、南から湿った空気も流入し強い風と雨の荒れた天気となった。

気象現象名：強風、波浪

気象災害名：強風害、沿岸波浪害

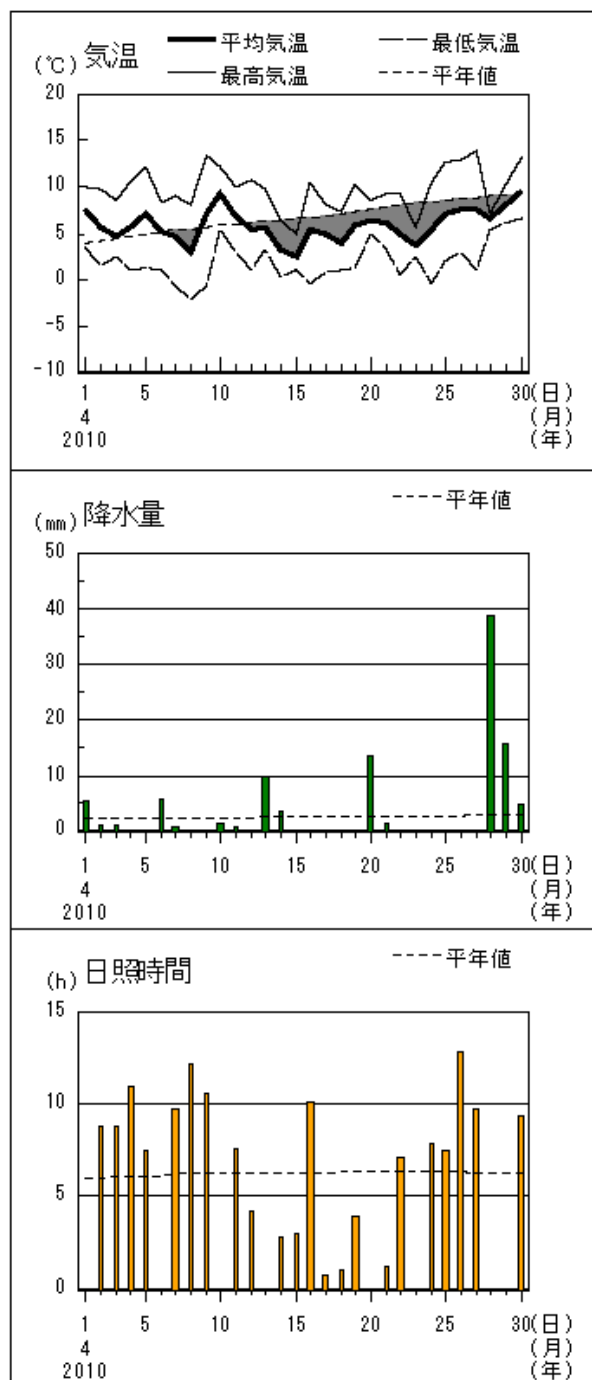
気象観測値：最低海面気圧（函館市美原）	1018.6hPa（28日24時00分）
最大風向・風速（函館市美原）	東南東14.3m/s（28日08時57分）
最大風向・風速（函館空港）	東南東16.6m/s（28日08時07分）
最大瞬間風向・風速（函館市美原）	東23.2m/s（28日07時30分）
最大波高（松前）	（速報値）3.3m（28日02時）
有義波高（松前）	（速報値）1.8m（28日03時）

被害状況：函館市：強風で住家のトタン屋根や外壁剥離など被害5棟、17時45分頃、強風による影響で高圧線が断線し約2時間2,660戸が停電、長万部町：農業施設の牛舎や納屋一部損壊2棟、ホタテ養殖施設の流出などの漁業被害が発生、JR：五稜郭－札幌間で部分運休、函館山ロープウェイ：強風で10時始発から運転見合わせ。

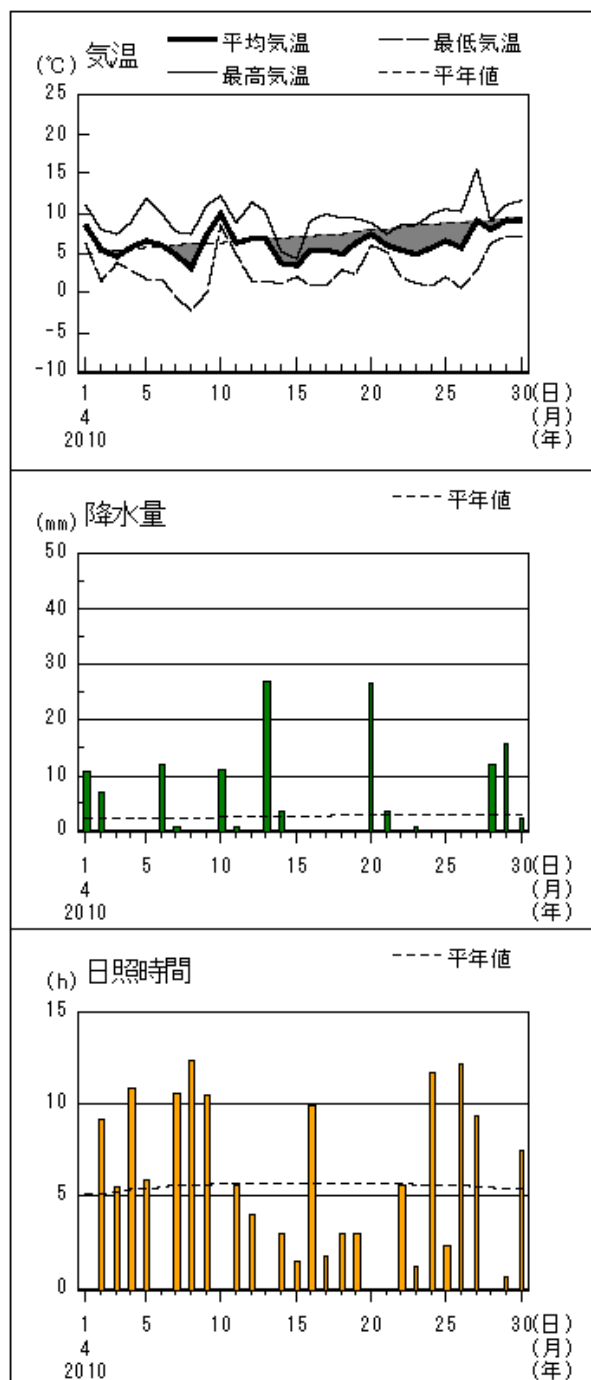
◎ 気象経過図（4月）

地上気象：2010年4月1日-2010年4月30日

函館



江差



◎ 気象分布図（4月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合がある。

